

別表 1：必要単位数、および該当科目一覧表（2023 年度）

単 位	学 部	科目名称	単位✓
＜必須科目＞ 2 科目 4 単位	教養科目	「ジェンダーと社会」	
		「女性学・男性学」	
＜選択科目＞ 6 科目 12 単位以上	教養科目	「比較文化」	
		「国際交流」	
		「日本国憲法」	
		「入門文化人類学」	
		「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅰ」	
		「ジェンダー・ダイバーシティ表現演習Ⅱ」	
		「セクシュアリティとメディア」	
		「思想としてのフェミニズム：性の多様性に至る系譜を学ぶ」	
	文学部	「国文学講義（6）近代Ⅱa」	
		「国文学講義（6）近代Ⅱb」	
		「Narratology」（※2023年度閉講）	
		「Reader-Response Theory」（※2023年度閉講）	
		「特別支援教育論」	
		「比較教育論」	
		「国際理解教育論」	
		「外国人児童生徒教育概論Ⅰ」（2022年度より）	
		「外国人児童生徒教育概論Ⅱ」（2022年度より）	
	人間情報学部	「ユニバーサルデザイン論」	
		「色彩学」（2022年度より）	
		「CG制作演習Ⅰ」（2022年度より）	
		「デザイン心理学」（2022年度より）	
		「デジタルファブリケーション演習」（2022年度より）	
	心理学部	「異文化コミュニケーション」	
		「発達障がいの心理臨床」（※2020 年度より）	
		「障害者・障害児心理学」（※2020 年度より）	
		「福祉心理学」（※2022年度より）	
		「社会学概論」（※2022年度より）	
	創造表現学部	「マンガ論」（※2021 年度より）	
		「社会学概論」	
		「メディアリテラシー」（※2020 年度より）	
		「ジャーナリズム論」（※2022年度より）	
		「メディア論」（※2021年度より）	
		「メディア社会調査法」（※2022年度より）	
		「文化研究a」（※2023年度より）	NEW
		「マンガ・アニメ史」（※2023年度より）	NEW
		「講読演習e」（※2023年度より）	NEW
		「批評理論入門」（※2023年度より）	NEW
		「批評理論 b」 （※認定期間2021年度より2022年度まで。講義内容変更のため2023年度から対象外）	
		「アニメ論」 （※認定期間2020年度より2022年度まで。講義内容変更のため2023年度から対象外）	
		「メディア社会論Ⅰ（コミュニケーション）」 （※認定期間2020 年度より 2021年度より「メディア論」へ科目名変更）	
		「表現実習Ⅸ（メディアとファッション）」 （認定期間2021 年度より 2022年度より「メディア社会調査法」へ科目名変更）	
		「批評理論 Ⅱ」（※2017年度より廃止）	
	福祉貢献学部※注	「マイノリティと現代社会」	
	交流文化学部	「地域理解 3（人と社会）」	
		「コミュニケーション論 4（インター・カルチャー）」	
		「交流文化 2（国際理解教育）」	
		「交流文化 3（多文化共生）」	
		「交流文化 6（国際交流）」（2022年度より）	
		「交流文化 8（エスニシティ論）」（2022年度より）	
		「地域文化 2（東南アジア）」（2022年度より）	
		「地域文化 7（北米）」（2022年度より）	
		「地域文化 8（オーストラリア）」（2022年度より）	
	ビジネス学部	「ビジネスとジェンダー」（※2021年度より廃止）	
		「共生とコミュニケーション」（※2021年度より廃止）	
		「サステナブル・ビジネス」（2023年度より）	NEW
	グローバル・コミュニケーション学部	「Gender and Communication」	
		「Multiculturalism in Japan」	
		「Gender and Society」	

※注…福祉貢献学部の社会福祉専攻の学生については、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「実習先行履修科目」、子ども福祉専攻の学生については、保育士国家資格の取得のためのB群「保育の本質・目的に関する科目」にあげられている科目を選択科目（6科目12単位）に含めることができる。（2022年度より）